

第一章

琉球神話と巡礼の道

神々と祈りの島・沖縄 16

沖縄古来の信仰世界とは 19

オナリ神信仰と御嶽 20

琉球の創世神話 24

辺戸の御水取り行事 26

荘厳・安須森御嶽 29

巡礼の道「東御廻り」を巡る 32

王朝発祥の地・佐敷の馬天御嶽 34

霊力の先端、斎場御嶽 36

「太陽の穴」と洞窟の世界観 40

沖縄の原風景・藪薩の浦原 44

受水走水と神の田 49

知られざる末吉宮参詣道を歩く 51

首里城から「龍の池」へ 54

第二章

海上の道と古琉球

69

「耳切り坊主」出現ポイント 56
首里を出て参詣道へ 58

「沖縄版・清水寺」末吉宮と遍照寺 63

海は「道」である 72

サンゴ礁と港 75

最良の港、運天港 77

運天の古墓群 81

王国の港湾拠点、那覇港 85

琉球初の海中道路「長虹堤」 89

チャイナタウンの「龍の道」 91

歴史のターニングポイント、大湾渡具知 95

域内海上交通の拠点・泊港 98

ペリー上陸の地と外人墓地 100

険しい今帰仁の「ハンタ道」 102

街路のない村 105

再編された風水の集落 108

すべての道は王宮へ通ず

- 王国道第一号の「綾門大道」 116
- 守礼門に隠された秘密 118
- 那覇港へ続く「真珠道」 122
- 大アカギと鬼餅伝説 125
- 金城町は「泉の町」 128
- 那覇港口の砲台へ 130
- 首里と浦添を結ぶ「尚寧王の道」 132
- 妖怪を封印した経塚 136
- 城下の仲間集落 138
- 浦添グスク、普天間街道へ 140
- 「宿道」の整備 142
- 一里塚から一里塚へ 145
- 喜名番所と瓦屋根の建物 152
- ペリー一行が歩いた「ハンタ道」 154
- 新垣グスクとペリーの旗立て岩 159

第四章

中城グスクと護佐丸悲話 164

グスクのアーチ門と「太陽の穴」 166

グスクとは何か 169

沖縄県の誕生と近代の道

173

沖縄県の設置と近代道路整備 176

国頭街道の開通と陸上交通への転換 178

国頭の「戻る道」と平安名のワイトウイ 180

「車」の登場―人力車、荷車、馬車 184

路面電車・軽便鉄道の導入 186

沖縄戦と折れた橋 190

アメリカ統治時代と嘉手納ロータリー 192

危険なパイプラインの道 194

日本復帰と「七三〇」 196

おわりに 200